

2015年2月12日  
第6回知の市場年次大会

拠点:東京・九段

## 現代環境法入門

連携機関 :第二東京弁護士会・環境法研究会

弁護士 栗谷 しのぶ

### 1. 第二東京弁護士会・環境法研究会について

- ・ 弁護士会とは
- ・ 弁護士の使命
- ・ 第二東京弁護士会・環境法研究会の位置づけ

### 2. 教育活動の趣旨

- ・ 環境法研究会の目指すもの

環境法規制に携わるためには、個別の環境法規を知るのみならず、広く国内外の環境法制度の動向や判例を研究しつつ、社会的・政策的視野に立って現行の法規制を学び、より良い環境法制・政策のあり方を検討していくという視点が求められる。

多様なステークホルダーとともにより良い環境法制・政策のあり方を求めて研究活動を進めることを目指す。

- ・ 定例研修会の実施

### 3. 2014年度の開講実績

- ・ 受講者数 19名
- ・ 化学工業関係、コンサルティング業の方が多数受講。
- ・ メールや口コミで講座の情報を知った方が多数。

### 4. これまでの経験を踏まえての問題点及び今後の課題

- ・ 受講者のニーズに对应しているか。
  - 受講者の多くが企業内の環境部門の所属者、環境コンサルタントなど。
  - 受講者の多くにとって、環境問題における企業のリスク管理が重要な課題。
- ・ 環境訴訟における判例の判断枠組み・基準をいかに理解してもらうか。
  - 判例を通じて、受講者とのディスカッションの中での発見。
  - ソクラテス・メソッドの実践

### 5. 2015年度の講義概要

- ・ 新講義を2つ追加し、最新判例を紹介（原子力発電所差止訴訟、アスベスト訴訟）